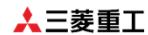


2025年度第3四半期決算説明資料

2026年2月4日

三菱重工業株式会社

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.



皆さん、こんにちは。CFOの西尾です。
2025年度第3四半期決算実績及び年間業績見通しについて、資料に沿って、要点をを中心に説明していきます。

目次

1. 決算のポイント	3-5
2. 2025年度第3四半期決算実績	6-14
・ 連結経営成績サマリー	
・ 連結財政状態	
・ 事業利益増減分析	
・ セグメント情報	
3. 2025年度業績見通し	15-20
・ 業績見通しハイライト	
・ 業績見通しサマリー	
・ セグメント情報	
4. 補足資料	21-24
・ 参考データ	
・ 地域別売上高	

当社グループが適用する国際会計基準（IFRS）の規定に基づき、当社連結子会社である三菱ロジスネクスト株式会社及びその子会社・関連会社に係る事業（※以降、当該事業を“ML”と表記）については、非継続事業に分類しております。これにより、前年同期および当期の受注高・売上収益・事業利益は、特段の記載がない限りMLを除いた継続事業のみの金額を表示するとともに、MLに直接関連する資産・負債は、「売却目的で保有する資産・負債」として他の項目と区別して表示しております。なお、キャッシュ・フローについては、計算書本体では区分せず、注記で別掲します。

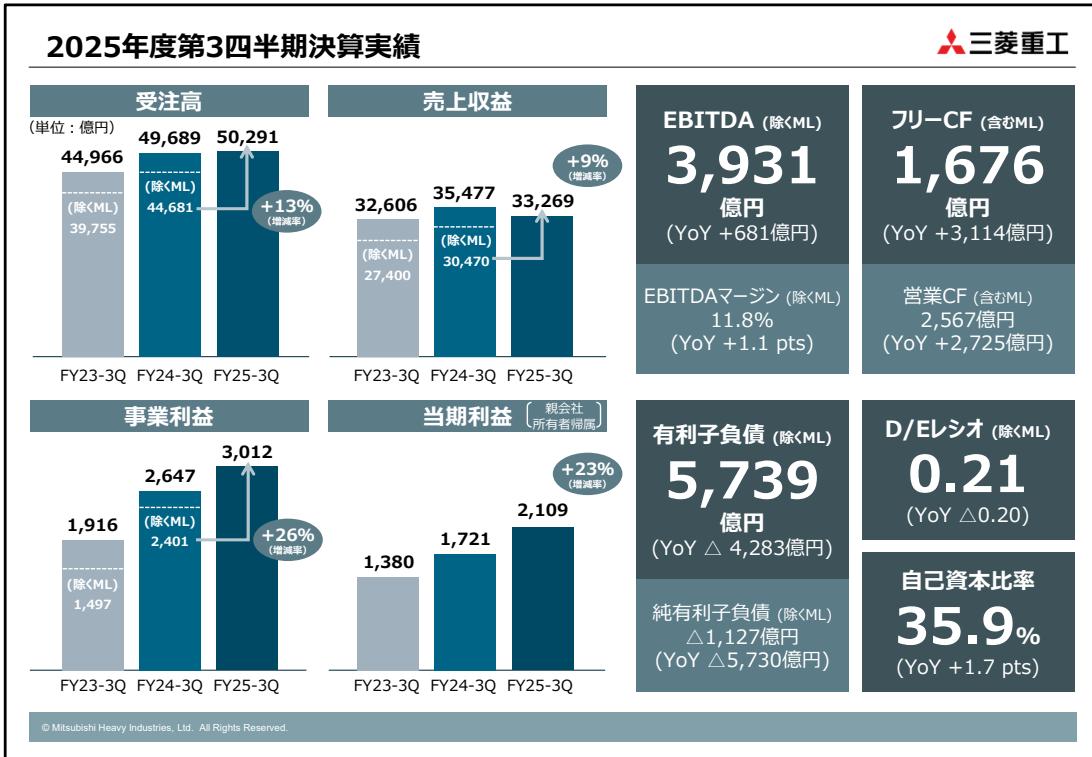
© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

資料の構成は、目次に記載のとおりです。

MOVE THE WORLD FORWARD MITSUBISHI
HEAVY
INDUSTRIES
GROUP

1. 決算のポイント

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.



実績値の全体概況について申し上げます。

主要KPIについて記載していますが、受注は5兆291億円となりました。これは前年同期比較では13%の増加、第3四半期累計としては過去最高値です。セグメント別にはGTCCを中心にエナジーが大幅に増加しました。

なお、ここには記載ありませんが、受注残高は12兆円を超え、前年度末から約2兆円積み上がっています。

売上収益は前期比9%増の3兆3,269億円、事業利益は前期から26%増の3,012億円となりました。

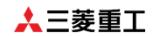
事業利益は、エナジー以外の全セグメントで前年同期を上回りました。エナジーは第2四半期に一時費用を計上したことにより前年同期比では減益です。

当期利益は前年同期比23%増の2,109億円となりました。これも第3四半期累計としては過去最高値です。

フリー・キャッシュ・フローは1,676億円のプラス、有利子負債の残高は5,739億円まで減少しています。

続きまして、7ページをご覧ください。

2025年度第3四半期決算実績ハイライト



- **受注高 : 50,291億円** (前年同期比 : +5,610億円、13%増)
エナジーが大幅に増加。航空・防衛・宇宙は、大型案件を複数受注した前年と比べると減少するも、引き続き高水準の受注高を確保。
受注残高は、前年度末から20,111億円増の12兆2,474億円となった
- **売上収益 : 33,269億円** (前年同期比 : +2,799億円、9%増)
エナジー、プラント・インフラ、航空・防衛・宇宙の3セグメントにおいて前年同期比増収。
主な事業別では、GTCC、防衛・宇宙が売上収益を大きく伸ばした
- **事業利益 : 3,012億円** (前年同期比 : +611億円、26%増)
プラント・インフラ、物流・冷熱・ドライブシステム、航空・防衛・宇宙の3セグメントにおいて前年同期比増益。火力事業の一部工事における損失や前年の土地売却のリバウンド等があったものの、GTCC、製鉄機械、防衛・宇宙が事業利益を大きく伸ばした
- **当期利益 : 2,109億円** (前年同期比 : +388億円、23%増)
事業利益の増加にともない前年同期比増益

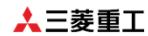
© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

MOVE THE WORLD FORWARD MITSUBISHI
HEAVY
INDUSTRIES
GROUP

2. 2025年度第3四半期決算実績

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

連結経営成績サマリー



(単位：億円)	FY2024-3Q (利益率)		FY2025-3Q [B] (利益率)	増減 [B]-[A] (利益率)	(+増減率)
	除くML* [A]				
受注高	49,689	44,681	50,291	+5,610	(+12.6%)
売上収益	35,477	30,470	33,269	+2,799	(+9.2%)
事業利益	2,647 (7.5%)	2,401 (7.9%)	3,012 (9.1%)	+611 (+1.2 pts)	(+25.5%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,721 (4.9%)	1,721 (5.6%)	2,109 (6.3%)	+388 (+0.7 pts)	(+22.6%)
EBITDA	3,820 (10.8%)	3,249 (10.7%)	3,931 (11.8%)	+681 (+1.1 pts)	(+21.0%)
フリー・キャッシュ・フロー	△1,437	△1,437	1,676	+3,114	
営業キャッシュ・フロー	△157	△157	2,567	+2,725	
投資キャッシュ・フロー	△1,280	△1,280	△890	+389	

(*) 除くML : P.2に記載した要領に基づき、2024年度の実績を組み替えて表示

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

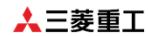
このページの下段にフリー・キャッシュ・フローを再掲しています。

フリー・キャッシュ・フロー1,676億円のうち、営業キャッシュ・フローが2,567億円のプラスとなっています。

利益の創出に加え、GTCCなどで旺盛な需要を背景に前受金を獲得していることなどによるものです。

続きまして、8ページをご覧ください。

連結財政状態



(単位：億円)	FY24末	FY25-3Q末	増減
売上債権（営業債権及び契約資産）	17,765	19,252	+1,487
棚卸資産	10,625	11,120	+495
その他流動資産	10,725	17,270	+6,544
(うち現金及び現金同等物)	(6,578)	(6,867)	(+289)
(うち売却目的で保有する資産*)	(37)	(5,564)	(+5,527)
固定資産	11,953	9,977	△1,975
投資等	15,519	16,309	+789
資産合計	66,589	73,930	+7,341
営業債務	9,302	8,333	△969
契約負債	14,439	18,434	+3,995
その他	11,634	13,566	+1,932
(うち売却目的で保有する負債*)	-	(2,720)	(+2,720)
有利子負債（除くML）	6,513	5,739	△774
資本	24,698	27,855	+3,157
(うち親会社の所有者に帰属する持分)	(23,467)	(26,530)	(+3,063)
負債及び資本合計	66,589	73,930	+7,341

(*) FY24末において売却目的保有に分類した資産は、MLとは直接関係のない当社保有の土地の一部であり、FY25-1Qに売却を完了。

FY25-3Q末において売却目的で保有する資産・負債には、MLとは直接関係のない資産・負債が含まれるが、残高に占める割合は僅少である

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

このページには、バランスシートについて記載しています。

バランスシート上、三菱ロジスネクストの資産及び負債は、「売却目的で保有する資産・負債」に含まれていますので、ご留意ください。

総資産は7兆3,930億円となり、前年度末対比で7,341億円増加しています。

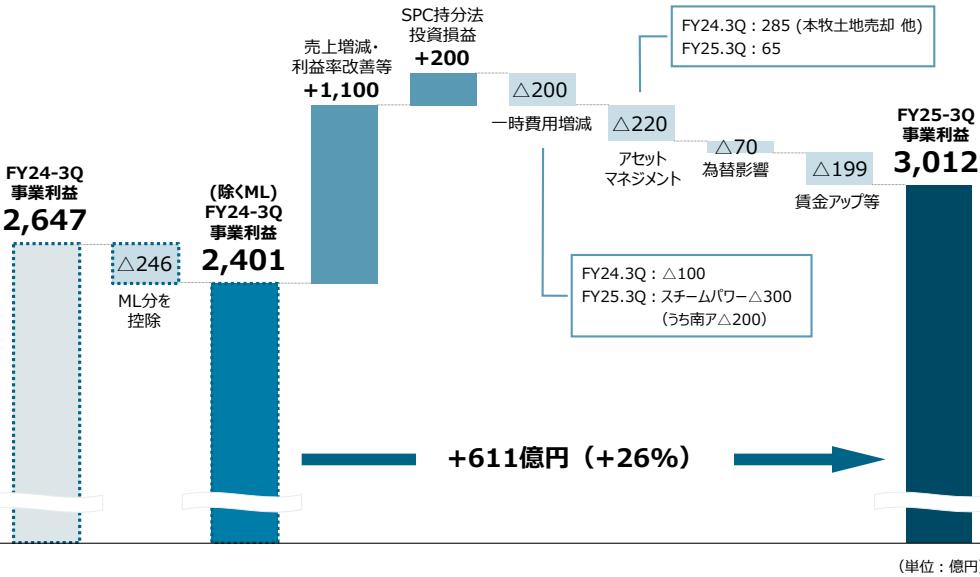
このうち、為替換算レートの変動影響が約2,400億円あり、これを除くと約4,900億円の増加です。

三菱ロジスネクストの表示替えの影響で読み取るのが難しいですが、その影響を除くと、防衛事業の拡大などに伴い運転資本の資産サイドが約3,500億円増加する一方、負債サイドはGTCCの前受金、つまり契約負債などで約3,000億円増加し、ネット運転資本は、この四半期断面において約600億円増加しています。

有利子負債の残高は5,739億円で、資産サイドの現金及び現金同等物と差し引きしたネット有利子負債はマイナス1,127億円となっています。

続きまして、9ページをご覧ください。

事業利益増減分析



このページには、前年同期対比での事業利益の増減要因を示しています。

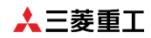
売上増減・利益率改善等でプラス1,100億円と分析しています。
各セグメントでの、豊富なバックログの遂行やアフターサービス提供が、
着実に成果を上げていると見ています。
期初の計画では、これを年間1,300億円としていましたが、第3四半期まででの
進捗と手応えを確認できたと考えています。

一時費用増減のマイナス200億円は、前年度に計上したマイナス100億円と
当年度第2四半期に計上したマイナス300億円との差額です。
いずれも火力案件です。

為替については、ドル建て案件の売上計上の平均レートが、前年同期1ドル152
円に対し、当期は148円と若干の円高でした。

事業セグメント別の動きについて11ページ以降で説明します。

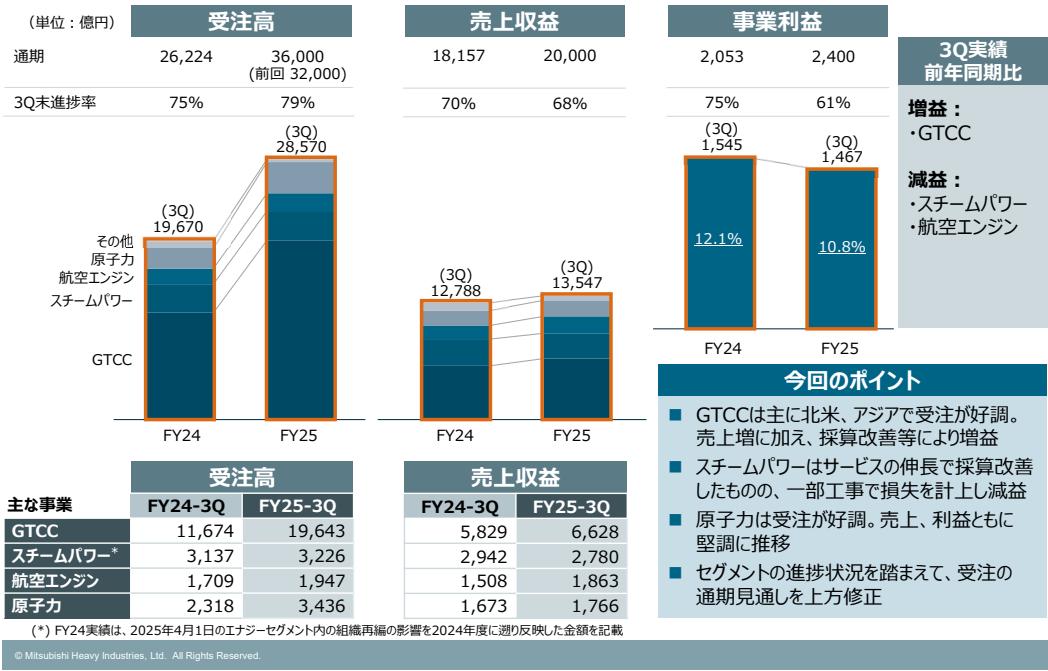
決算実績 セグメント別内訳



(単位：億円)	受注高			売上収益			事業利益		
	FY24 3Q	FY25 3Q	増減	FY24 3Q	FY25 3Q	増減	FY24 3Q	FY25 3Q	増減
エナジー	19,670	28,570	+8,899	12,788	13,547	+759	1,545	1,467	△77
プラント・インフラ	8,135	8,913	+777	5,864	6,339	+474	397	649	+252
物流・冷熱・ ドライブシステム（除くML）	4,910	4,443	△466	4,646	4,370	△276	171	184	+12
航空・防衛・宇宙	11,820	8,370	△3,450	6,896	8,912	+2,016	697	1,053	+356
その他及び 全社又は消去（除くML）	144	△6	△150	274	99	△174	△410	△342	+68
合計	44,681	50,291	+5,610	30,470	33,269	+2,799	2,401	3,012	+611

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

セグメント別決算実績 <エナジー>



エナジーの受注は、GTCCと原子力が大幅に増加しました。
GTCCは北米、アジア、国内での旺盛な電力需要を受注に繋げています。

事業利益は、工事の着実な遂行、アフターサービスの提供等による増益がある一方、スチームパワーで300億円の一時費用を計上したことなどにより、セグメント全体では減益となりました。

なお、GTCC、原子力、スチームパワーの好調な受注状況を反映し、年間の受注見通しを3兆2,000億円から3兆6,000億円に上方修正します。

続きまして、12ページをご覧ください。

セグメント別決算実績 <プラント・インフラ>

三菱重工

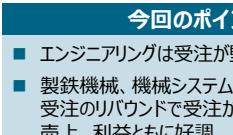
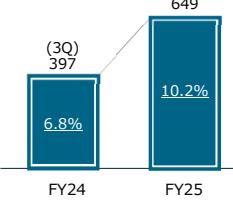
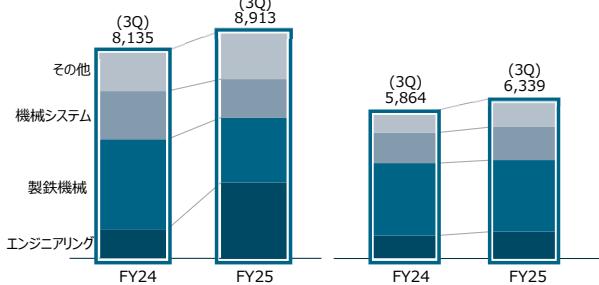
(単位：億円)	受注高	
通期	10,002	11,000 (前回 9,000)
3Q未進捗率	81%	81%

売上収益	
8,521	8,500
69%	75%

事業利益	
596	800 (前回 700)
67%	81%

3Q実績 前年同期比

- 増益：
- ・エンジニアリング
- ・製鉄機械
- ・機械システム



FY24 FY25

FY24 FY25

主な事業	受注高	
	FY24-3Q	FY25-3Q
エンジニアリング	1,138	2,963
製鉄機械	3,513	2,541
機械システム	1,888	1,500

売上収益	
FY24-3Q	FY25-3Q
955	1,104
2,828	2,801
1,194	1,291

今回のポイント

- エンジニアリングは受注が堅調
- 製鉄機械、機械システムは昨年の大型受注のリバウンドで受注が減少するも、売上、利益ともに好調
- セグメントの進捗状況を踏まえて、受注、事業利益の通期見通しを上方修正

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

プラント・インフラは、受注・売上・事業利益とも前年同期比で増加しています。

受注は、前年同期に大型案件があった製鉄機械と機械システムがリバウンドで減少する一方、エンジニアリングではトルクメニスタン向け肥料製造プラントの成約などがあり、全体では増加となっています。

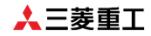
事業利益は、製鉄機械の円滑な工事遂行のほか、機械システムや商船等の採算改善により大幅増益となりました。

なお、先ほど申し上げた大型肥料プラントの受注などを反映し、受注の年間見通しを9,000億円から1兆1,000億円に上方修正します。

事業利益の年間見通しも、エンジニアリングや製鉄機械の順調な進捗を反映し、700億円から800億円に上方修正します。

続きまして、13ページをご覧ください。

セグメント別決算実績 <物流・冷熱・ドライブシステム>



(単位：億円)	受注高	
通期	6,644	6,000
3Q未進捗率	74%	74%

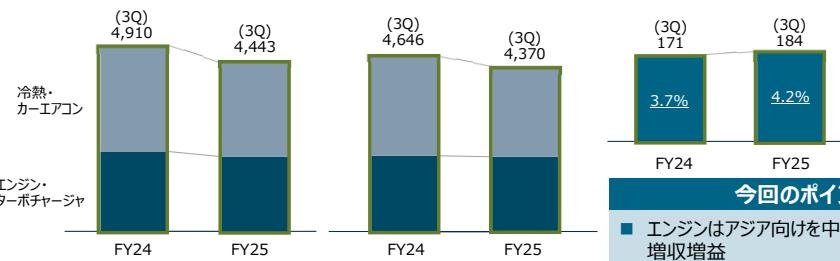
売上収益	
6,410	6,000
72%	73%

事業利益	
204	200
84%	92%

3Q実績
前年同期比

増益：
・エンジン
・ターボチャージャ

減益：
・冷熱



主な事業	受注高	
	FY24-3Q	FY25-3Q
エンジン・ターボチャージャ	2,126	1,988
冷熱・カーエアコン	2,847	2,517

主な事業	売上収益	
	FY24-3Q	FY25-3Q
エンジン・ターボチャージャ	2,034	2,009
冷熱・カーエアコン	2,674	2,421

今回のポイント

- エンジンはアジア向けを中心に堅調で増収増益
- ターボチャージャは販売台数が減少したものの、サプライチェーンの混乱が収束し増益
- 冷熱は販売台数の減少により減収減益

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

物流・冷熱・ドライブシステムの売上については、冷熱は中国の不動産不況による空調機器の販売減が依然として継続し、減収となりました。他方、エンジンはデータセンター向け需要を取り込み増収となりましたが、セグメント全体では減収となりました。

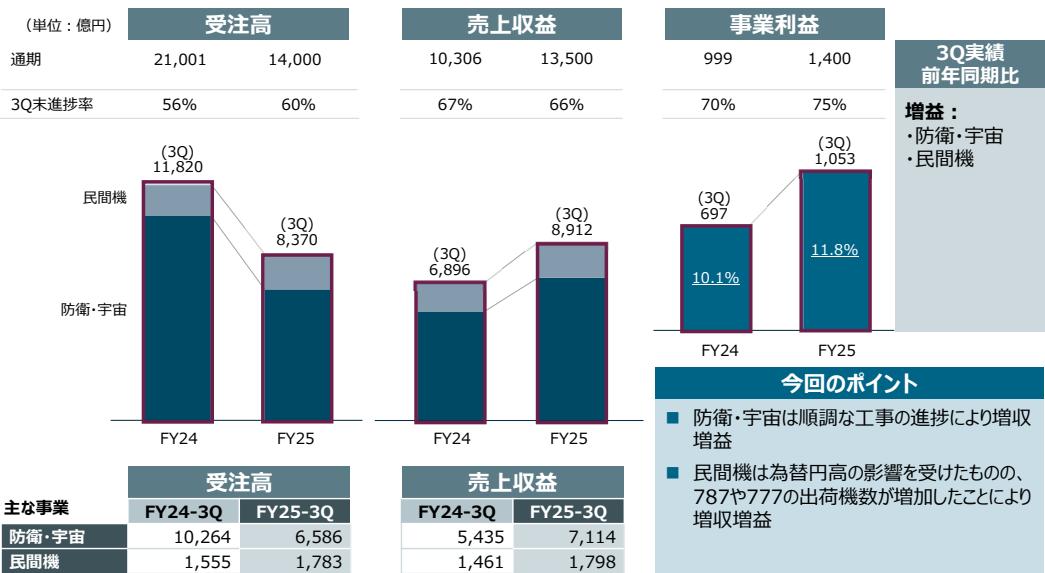
事業利益は、エンジンとターボチャージャが増益、冷熱は減益で、セグメント全体では増益となりました。

続きまして、14ページをご覧ください。

セグメント別決算実績 <航空・防衛・宇宙>

三菱重工

(単位: 億円)



© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

防衛は、前年同期における複数の大型案件のリバウンドで受注は減少していますが、手持ち工事を着実に遂行し、増収増益です。

民間機もボーイング787の出荷機数の増加、各種改善の成果が実り、増収増益となっています。

続きまして、年間業績見通しについてご説明します。16ページをご覧ください。

3. 2025年度業績見通し

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
従いまして、この業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。
実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知ください。
実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。
米国関税措置に対しては、顧客への価格転嫁を中心とした対策に取り組んでおり、現時点では当社業績にもたらす影響は限定的と想定しております。

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

業績見通しハイライト



■ 受注高：67,000億円（前回見通し比：+6,000億円）

	前回見通し	今回見通し	増減	上方修正した主な事業
エナジー	32,000億円	36,000億円	+4,000億円	• GTCC
プラント・インフラ	9,000億円	11,000億円	+2,000億円	• エンジニアリング

■ 事業利益：4,100億円（同上：+200億円）

	前回見通し	今回見通し	増減	上方修正した主な事業
プラント・インフラ	700億円	800億円	+100億円	• エンジニアリング • 製鉄機械
その他及び全社又は消去	△800億円	△700億円	+100億円	

■ 当期利益：2,600億円（同上：+300億円）

■ フリー・キャッシュ・フロー：2,000億円（同上：+2,000億円）

■ 売上収益、配当金は、前回公表より変更なし

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

受注の年間見通しを6,000億円上乗せし、6兆7,000億円に上方修正します。

事業利益はプラス200億円の4,100億円、当期利益はプラス300億円の2,600億円に上方修正します。

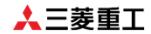
なお、第4四半期の為替レートの前提是、1ドル150円としています。
事業利益に対する為替のエクスポージャーは9億ドルです。

フリー・キャッシュ・フローは、プラス2,000億円に上方修正します。

17ページから20ページは、繰り返し部分も多くありますので、お読み取りいただきたく存じます。

続きまして、22ページをご覧ください。

業績見通しサマリー



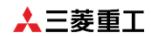
前回公表（2025年11月7日）から変更あり

(単位：億円)	2024年度 (利益率)		2025年度 (利益率)		増減 【B】-【A】 (利益率)	(増減率)
	除くML*【A】	前回見通し	今回見通し【B】			
受注高	70,712	64,051	61,000	67,000	+2,948	(+4.6%)
売上収益	50,271	43,611	48,000	48,000	+4,389	(+10.1%)
事業利益	3,831 (7.6%)	3,549 (8.1%)	3,900 (8.1%)	4,100 (8.5%)	+550 (+0.4 pts)	(+15.5%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,454 (4.9%)	2,454 (5.6%)	2,300 (4.8%)	2,600 (5.4%)	+145 (△0.2 pts)	(+5.9%)
ROE	10.7%	10.7%	10%	10%	△0.7 pts	
EBITDA	5,413 (10.8%)	4,699 (10.8%)	5,100 (10.6%)	5,300 (11.0%)	+600 (+0.2 pts)	(+12.8%)
フリー・キャッシュ・フロー	3,427	3,427	0	2,000	△1,427	
配当	23円 中間11円/期末12円	23円 中間11円/期末12円	24円 中間12円/期末12円	24円 中間12円/期末12円	前提為替レート： 1ドル=150円、1ユーロ=180円	

(*) 除くML : P.2に記載した要領に基づき、2024年度の実績を組み替えて表示

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

業績見通し セグメント別内訳

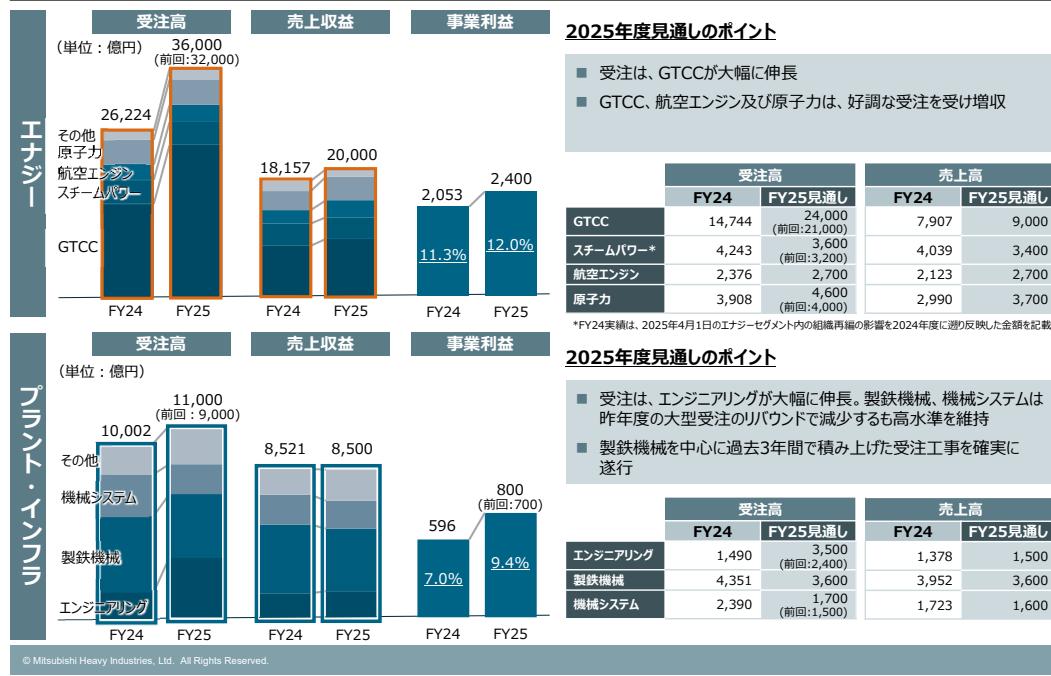


前回公表（2025年11月7日）から変更あり

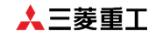
(単位：億円)	受注高				売上収益			事業利益			
	FY24 実績	FY25見通し		FY24比 増減	FY24 実績	FY25 見通し	FY24比 増減	FY24 実績	FY25見通し		FY24比 増減
		前回	今回						前回	今回	
エナジー	26,224	32,000	36,000	+9,775	18,157	20,000	+1,842	2,053	2,400	2,400	+346
プラント・インフラ	10,002	9,000	11,000	+997	8,521	8,500	△21	596	700	800	+203
物流・冷熱・ ドライシステム (除くML)	6,644	6,000	6,000	△644	6,410	6,000	△410	204	200	200	△4
航空・防衛・宇宙	21,001	14,000	14,000	△7,001	10,306	13,500	+3,193	999	1,400	1,400	+400
その他及び 全社又は消去 (除くML)	179	0	0	△179	215	0	△215	△304	△800	△700	△396
合計	64,051	61,000	67,000	+2,948	43,611	48,000	+4,389	3,549	3,900	4,100	+550

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

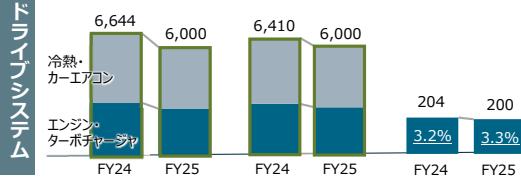
セグメント別業績見通し <エナジー、プラント・インフラ>



セグメント別業績見通し <物流・冷熱・ドライブシステム、航空・防衛・宇宙>



受注高
(単位: 億円)

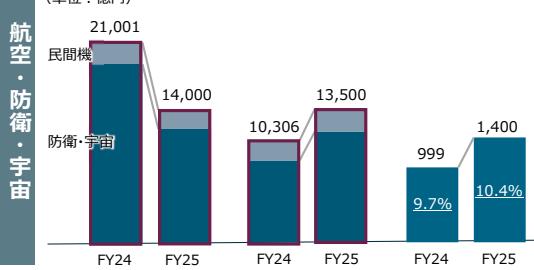


2025年度見通しのポイント

- エンジンは、アジア向けを中心に非常用発電機の販売台数増加を見込む
- ターボチャージャ、冷熱は販売台数の減少を見込む

	受注高		売上高	
	FY24	FY25見通し	FY24	FY25見通し
エンジン・ターボチャージャ	2,907	2,600	2,791	2,600
冷熱・カーエアコン	3,818	3,400	3,698	3,400

受注高
(単位: 億円)



2025年度見通しのポイント

- 防衛・宇宙の受注は前年度対比で減少するも、高水準を維持。売上は航空機・飛行体を中心に増加
- 民間機は出荷機数の増加により增收を見込む

	受注高		売上高	
	FY24	FY25見通し	FY24	FY25見通し
防衛・宇宙	18,768	12,000	8,276	11,200
民間機	2,232	2,000	2,030	2,300

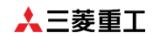
© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

MOVE THE WORLD FORWARD MITSUBISHI
HEAVY
INDUSTRIES
GROUP

4. 補足資料

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

補足資料 参考データ



大型ガスタービン 受注台数・契約残台数			民間航空機 出荷機数						
	FY24-3Q	FY24通期	FY25-3Q	777	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
米州	11	11	15	FY24	6	6	2	5	19
アジア	4	5	12	FY25	6	8	4		18
EMEA	1	9	4						
その他	-	-	-						
受注台数 合計	16	25	31						
契約残台数	40	48	75	777X	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
				FY24	3	3	1	0	7
				FY25	0	3	5		8
【参考】中国の協業先企業における受注台数				787	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
	FY24-3Q	FY24通期	FY25-3Q	FY24	9	12	12	12	45
受注台数	7	7	13	FY25	18	17	16		51

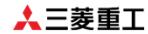
© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

22ページ以降に補足情報を記載しています。

ガスタービンの受注台数は、第3四半期累計で31台、手持ち受注残は75台となっています。

続きまして、23ページをご覧ください。

補足資料 参考データ^(*)



受注残高

(単位：億円)	FY24-4Q	FY25-3Q
エナジー	49,184	65,908
プラント・インフラ	17,053	20,965
物流・冷熱・ドライブシステム	793	679
航空・防衛・宇宙	35,145	34,772
その他及び全社又は消去	185	148
合計	102,362	122,474

未確定外貨

(億通貨単位)	USD	EUR
未確定外貨（事業利益）	9	2
未確定外貨（金融収益費用）	19	0
前提為替レート	150.0	180.0

為替レート（売上計上平均レート）

	FY24-3Q	FY25-3Q
USドル（円/USドル）	151.9	148.5
ユーロ（円/ユーロ）	163.8	169.7

研究開発費、減価償却費、設備投資

(単位：億円)	FY24-3Q	FY25-3Q	FY25見通し
研究開発費（広義） ^(*)	1,362	1,795	3,200
減価償却費	848	918	1,200
設備投資	971	1,153	1,600

販売費及び一般管理費

(単位：億円)	FY24-3Q	FY25-3Q
販管費	4,208	4,521

エナジーセグメント 売上AS比率（累計）

	FY24-3Q	FY25-3Q
GTCC	51%	50%
スチームパワー	66%	75%
原子力	82%	69%
エナジー計	62%	63%

(*) 受注残高、未確定外貨、研究開発費、減価償却費、設備投資、販売費および一般管理費はML分を含まず

(**) 研究開発費には、受託研究等の費用を含む

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

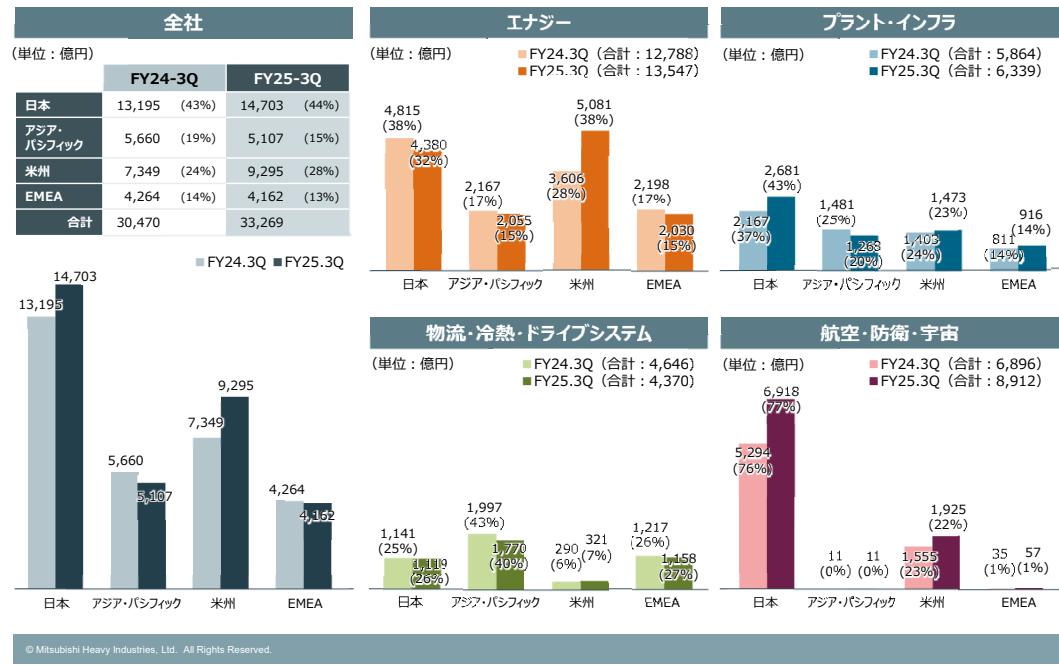
左上にセグメント別の受注残高を掲載しています。

エナジーの受注残高が約6.5兆円、このうちGTCCが約5兆円となっています。その他、プラント・インフラが約2兆円、航空・防衛・宇宙が約3.5兆円という構成となっています。

第3四半期の決算実績は、全体として好調を維持、豊富なバックログを着実に利益増に繋げつつ、さらに将来の利益増加の源泉となる受注獲得の進捗を確認できましたと考えています。

引き続き、2024事業計画の達成に向け、着実な事業遂行を続けて参ります。

私からの説明は以上です。

補足資料 地域別売上高


© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

MOVE THE WORLD FORWARD MITSUBISHI
HEAVY
INDUSTRIES
GROUP

